

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和6年4月11日）

1 主な報告等

(1) 沖縄県警察学校入校式の挙行について

委員から、これから学校で過ごす短期課程（大卒）半年、長期課程（高卒）10か月は、警察官としての使命感、責任感、連帯感を醸成する重要な期間になるので、しっかりと育成に取り組んでもらいたい旨の発言がありました。

(2) 出資法違反事件等被疑者らの検挙について

委員から、将来のある若者が犯罪被害に遭っている状況が見受けられるところ、今回の逮捕は、被害拡大防止に大きな影響があり、引き続き事件の全容解明に向けて取り組んでいただきたい。また、若者がこの種の犯罪に巻き込まれないための対策についても検討していただきたい旨の発言がありました。

(3) 交番相談員の活動状況等について

委員から、交番相談員の配置について、警察官の業務量や負担率のみに囚われることなく、交番相談員の特性を活かし、それぞれの地域に即した配置についても検討していただきたい旨の発言がありました。

(4) 令和5年の刑法犯検挙状況について

委員から、逮捕種別のうち、現行犯逮捕及び緊急逮捕の比率が高いということは、現場における判断力の高さの表れであり評価する。当県は、飲酒絡み、親族間の粗暴事件の検挙が多いということが説明を受けよく分かった。その他の犯罪の検挙状況についても多角的に検証し、犯罪抑止に繋げてもらいたい旨の発言がありました。

(5) 交通事故削減に向けた連携協定の成果発表等について

委員から、全国的にも初めての事例であり、非常に良い取り組みである。データ解析結果を分かりやすく可視化して成果を対外的にアピールし、全国的に波及することを期待する。民間企業、関係機関や地域との更なる連携方策についても模索していただきたい旨の発言がありました。

(6) 津波警報発表に伴う災害警戒警備について

委員から、現場の声を聞き、今回見えた課題について検証、見直しを図り、今後の警察活動に活かしていただきたい旨の発言がありました。

(7) その他

警察本部から、今回の津波警報発令に伴い、空港やフェリーターミナルに多くの観光客等が滞留するなど、当県の課題として、災害発生時における観光客等への対応とその安全確保が浮き彫りとなった。今後、関係機関と検証し各種対策を推進してまいりたい旨の発言がありました。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 監察関係
- ・ 審査請求関係
- ・ 訴訟の終結報告
- ・ 令和6年第1回沖縄県議会（2月定例会）の結果について
- ・ 公安委員会あて苦情の受理
- ・ 公安委員会あて意見要望の受理

(2) 生活安全部

- ・ 銃砲等関係許可等申請に係る手数料の過徴収についての処理状況

(3) 地域部

- ・ 陳情の処理経過及び処理結果について

(4) 刑事部

- ・ 逮捕状を請求することのできる司法警察員の指定について

(5) 交通部

- ・ 陳情の処理経過及び処理結果について
- ・ 自動車運転免許の行政処分
- ・ 弁明書の作成

(6) 警備部

- ・ 警察職員の援助要求について